



## PDA 岐阜県立岐阜高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年5月12日(金) 15:40-16:40

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒12名、教員1名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京大学

はじめに、ルールの確認、POIの練習を行いました。POIとは、Point of Informationの略称で、ディベート中に質疑応答を要求することができるルールです。片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズをしっかりとすることができました。



POIの練習

### 実践(1)の様子

実践(1)では、たびたびニュースにもなる論題についてディベートしました。自分たちの知っている情報を具体例として提示したり、POIで質問したりする場面も見られました。相手のポイントを聞いて、戦略的な対応をするなど、高いコミュニケーションスキルを発揮する様子も見られました。

### 実践(2)の様子

休憩を挟み、実践(2)のスタートです。実践(1)よりも身近な論題で、さらに細かい具体例や反論なども飛び交いました。ディベートが終わると握手を交わし、ジャッジによるコメントにメモをとりながら聞き入りました。ディベートが終わると、定義はどのようにするのがよいか、アイデアを広げるためにはどうしたらよいかなどジャッジに対する質問の手が上がり、意欲的に学習しました。



堂々とスピーチをする様子



エアークラッシュ

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 言い方をたくさん考えることができてよかったです。
- ・ 去年も参加したのですが我ながら自分が成長したなあ〜って思って感慨深いです。
- ・ 様々なアドバイスをいただくことができたので、それを生かしてこれからもディベートの活動を頑張りたいと思います。ありがとうございました。
- ・ まだまだ慣れないディベートですが、経験を積んで、反省を活かし、どんどん成長していきたいです。
- ・ 先輩達の英語が流暢で聞いていて勉強になった。英語のやりとりで先輩達が必死に話している時がスポーツの試合みたいに接戦で面白かった！



PDA 静岡県立静岡高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年5月16日(火) 15:30~17:30

場所：オンライン (Zoom)

参加者：高校1・2年生16名、教員3名(京田先生、望月先生他)

スタッフ：PDA認定教育ジャッジ、北海道教育大学

PDA 即興型英語ディベートの実践を、対戦相手と肯定/否定のサイドを換えて2回行いました。実践前に、PDA ルールの確認を行い、即興型英語ディベート特有の大事なルール、POI (Point of Information) の練習を参加者全員で行いました。その後、今後の自主練習などで、生徒同士でもジャッジができるようにジャッジの仕方も学び、早速実践①の論題発表です。



緊張をほぐすためにも、全員で元気よく POI 練習！

### 実践①の様子

15 分間の準備時間を使い、生徒たちは論題を肯定/否定する理由を考えます。チーム内で分からない点を教え合いながら、ディベート経験者と初めて経験する生徒同士が協力し合う様子が見られました。実際のラウンドでは、きれいな英語の発音で、現状の問題点や良い点について、具体例を添えてスピーチが交されました。また、即興での反論も、しっかりと相手の議論にかみ合っており、さらには POI も飛び交い、活発なやりとりが見られました。

ラウンド後は、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1人1人への個人コメント(良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点など) が述べられました。

## 実践②の様子

短い休憩の後、実践②の論題が発表されました。先ほど PDA ジャッジから受けたアドバイスを早速 2 回目の実践にいかす生徒ばかりで、静岡高校の皆さんの柔軟性や応用力の高さに驚かされます。実践②でも、鋭い反論の布石となる POI が飛び交い、活発なやり取りが各テーブルで見られました。



相手のスピーチ中に質疑できる POI を活用します

具体例に加えて、代案のメリットを述べる等、相手の議論への反論や自分たちの議論の再構築が続き議論が深まります。スピーチマナーだけでなく、聞く姿勢や、仲間をフォローする姿も多く、静岡高校の皆さんのチームワークの良さも光りました。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて対戦相手と握手

体験会の参加した生徒を代表して 2 名のディベーターから、「初めてやる役割だったが、準備時間中にチーム内で色々なアイデアを共有できて、ディベートの楽しさを感じられた。また、多角的に物事を考える練習もできて良かった」、「初めての体験だったが、仲間と助け合って、相手の議論にどのような反論ができるか等を考えて、即興で応答する貴重な練習機会になった。ありがとうございました。」との感想が述べられました。

### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

- 1回目は組み立てに時間が足りなかったが、2回目は時間内に話し切ることが出来ず、悔しかった。
- 説明やレビューが分かりやすく面白かったです。
- 英語を話す力、聞き取る力、また、チームで話し合いを効率的に行う力など様々な力がついたと思います！
- この度は、ディベート体験会に参加して本当に良かったと思い、価値のある時間を過ごせて本当に嬉しく思います。先輩や仲間の英語を聞いて自分の回転の遅さや単語力の低さなど、痛感しましたが、もっと頑張って、もっと白熱した試合をしたい、もっと英語をすらすら話せるように勉強したいと思い、さらに興味をもちました。
- 英語を話すのはやっぱり楽しいし奥が深いなど改めて感じさせられました。
- とても楽しかったです。自分のチームの人や相手のチームの人がすごくペラペラ英語を話していて、それに引き上げられてかなり普段の授業より頑張れたかなと思いました。ただ、相手の意見でたまにわからない単語やフレーズがあると、しっかり意味を理解できないので、これからの授業で知識を増やして、ちゃんと相手の意見を理解して、自分の意見に切り込めるように頑張りたいと思いました。
- 勝敗も気になりましたが、どういう話し方をすれば良いのかもわかってとても為になりました。
- 慣れないポジションで苦戦しましたが、その中で試行錯誤し楽しむことができました。スキルを磨いていきたいと思っています
- 始めは緊張していたが、想像以上にたのしかった



## PDA 三重県立四日市高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年5月19日（金）16:00-17:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒11名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京外国語大学

はじめに、ルールのおさらいと POI（Point of Information）の練習を行いました。画面に向かって元気よく POI のポーズをすることができました。



POI の練習

### 実践（1）の様子

実践（1）では、肯定側も否定側も具体的に論題によるメリット・デメリットを詳しく説明することができました。主張に説得力を持たせるために具体的な過程について分析している場面もあり、甲乙つけ難いディベートとなりました。ディベートが終わると相手チームとエアードレスを交わし、ジャッジによるフィードバックに耳を傾けました。

### 実践（2）の様子

休憩を挟み、対戦チームを変えて実践（2）のスタートです。「即興型英語ディベートをするのは今日が初めてだ」という生徒もいましたが、1回目の実践で流れを掴み、準備時間もディベートもよりスムーズに行うことができました。時には家族のエピソードや知人のエピソードを具体例として提示し、描写する場面もありました。また、実践（1）に引き続き、POIを通じた質疑応答が飛び交うディベートとなり、お互いに議論を深めようとする姿勢が見られました。





堂々とスピーチをする様子



エアー握手

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 普段の生活では体験できないような英語で話し合いをするという新しいことができてよかった。
- ・ 英語で話すことに抵抗があったけどディベートをしていく中で英語を話すことは楽しいと感じました。とてもいい経験でした。
- ・ 今後ディベートをする際に今回言われた改善点を活かし、より良いディベート(話し合いも含め)にできるようにしたいと思った。
- ・ 思うように文章が頭から出てこなくて、英語の反射神経の低下が見えたので、日頃から英語に触れていきたいと思う。少し自信もついた。



## PDA 愛知県立岡崎高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年5月22日(火) 16:00~18:00

場所：オンライン (Zoom)

参加者：高校1・2年生16名、教員1名(久保田先生)

スタッフ：九州大学、PDA認定教育ジャッジ

まず最初に、PDA ルールの確認を行い、即興型英語ディベート特有の大事なルール、POI (Point of Information) の練習を参加者全員で行いました。その後、ジャッジの仕方も学び、早速実践①の論題発表です。



全員で元気よく POI 練習！

### 実践①の様子

現状の問題点や良い点について、身近な具体例と共に分かりやすい立論が両サイドから述べられました。即興での反論に備えて、相手の議論をしっかりと理解するために早速 POI も飛び交います。反論でも、主張-理由-具体例-再主張/帰結まで話されており、岡崎高校の皆さんの論理的思考力の高さに驚かされます。

ラウンド後は、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1人1人への個人コメント(良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点など) が述べられました。

### 実践②の様子

短い休憩の後、先ほど PDA ジャッジから受けたアドバイスを早速いかして、実践②の開



始です。論題に関連した主張を支える理由や具体例に、自分たちの議論の優位性を高める分析が加わり、相手の議論と自分たちの議論を比較する姿勢が目立ちました。また、実践②でも POI が飛び交い、活発なやり取りが各テーブルで見られました。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて対戦相手と握手

体験会に参加した生徒を代表して 2 名のディベーターから、「自分の議論を考えることに集中してしまい、他の人のスピーチを十分に聞く余裕が今回はなかったので、次回はもっと他の人のスピーチも聞けるようになりたいです」、「準備時間が 15 分間と短くて、チーム内での議論の矛盾もあったが、みんなの議論を聞いて、まとめのスピーチに取り組むことができて良かった。」との感想が述べられました。すぐに自分たちの課題を把握し、次回に向けての目標設定ができる岡崎高校の皆さんの今後の未来がとても楽しみです。

### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ディベートがしっかりできるか不安でしたが、自分の良かったところを褒めてくださり自信が持てた。自分でもディベートができそうなので大会にもぜひ出てみたい。
- 仲間と協力しながら、ラウンド1からラウンド2にかけてアドバイスを通して成長を感じられて、とても楽しかった。
- 反論を即興で考えることがとても難しかったですが、とても参考になるフィードバックをいただけたので、自分のディベートに生かして反論も上手くできるようにになりたいです。
- たどたどしい英語でも良かったところを言っていただいてありがとうございました。  
いただいたアドバイスを生かしていきたいです。
- 一年生と初めてディベートを行い、どのように話すのが良いのか思い出すことができ、非常にためになる時間でした。どのようにするのがベストかを考えて行うより、どのようにすれば伝わりやすいかを意識することが大切だと思えることができました。
- 時間の配分など体験でき、ジャッジの先生の客観的なジャッジやアドバイスで気づくことも多く、楽しかったです。上手にできなかったけど、ちがう視点からの相手の意見に反論するのはあまりしたことのない体験でした。



## PDA 静岡県立浜松北高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年5月24日（水）16:00-18:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒35名、教員1名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京外国語大学、東京大学、九州大学

はじめに、ジャッジの紹介、ルールの確認、POI（Point of Information）の練習を行いました。「POIのポーズを知っていますか？」とたずねると、率先してPOIのポーズを披露する生徒の姿が。その後、スタッフの「せーの！」の声かけに合わせて、POIのポーズを全員ですることができました。



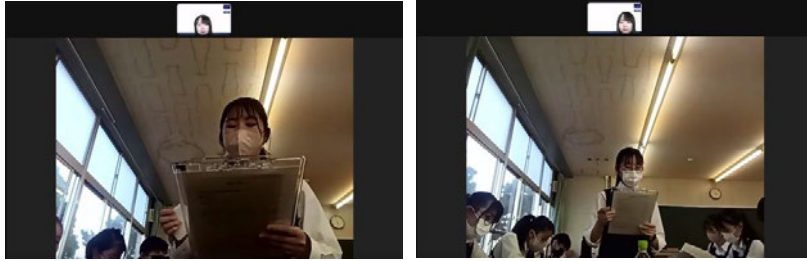
POIの練習

### 実践（1）の様子

実践（1）では、最近の世界情勢を絡めながら主張の背景を説明するなど、普段から社会の変化にアンテナを張っている様子が垣間見られました。また、時間が余っても、スピーチを繰り返したり、POIで質問を受けたりなど、時間を有効活用し、議論を深めようとする姿勢が見られました。

### 実践（2）の様子

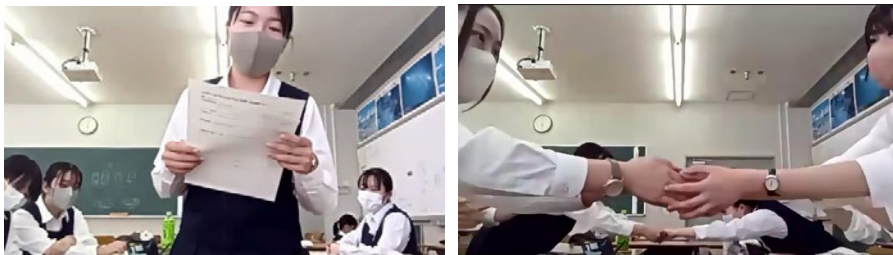
休憩を挟み、肯定チームと否定チームを入れ替えて次の実践が始まりました。実践（1）でジャッジから受けたフィードバックを即活かそうと、学んだコロケーションを使おうと試みたり、描写に工夫をしたりしました。ディベートが終わると握手を交わし、ジャッジによる勝敗の説明と、個人フィードバックに耳を傾けました。ベストディベーターとベストPOIの発表では、ジャッジから選ばれた生徒に拍手が送られました。



堂々とスピーチをする様子



ジャッジとアイコンタクト



ハキハキとスピーチ

エアー握手

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- いつもジャッジは生徒でやってるから、プロフェッショナルにフィードバックが聞けてためになった。
- 良かった点や的確なアドバイスをくださり、今後活かすことができるよう頑張ろうと思いました。
- きちんとジャッジをしてもらうことで、緊張感が生まれ、しっかりとディベートが出来たからよかった。
- 自分の意見を述べるのはあまり得意じゃなかったけど、この活動を通して得意になれるようにしたい。
- 自分の考えを全て英語で伝えるのは難しかったけれど、普段よりも頭を使って、仲間と協力しあって議論を進める過程が楽しかったです！
- まだ英語ディベートに慣れておらず、緊張もしましたが、楽しんで取り組みました。今回頂いたアドバイスを、今後の英語ディベートへ活かし、取り組み方を改善させたいです。



## PDA 静岡県立清水東高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年6月7日（水）16:30-18:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒9名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、ルールの確認と POI（Point of Information）の練習を行いました。片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばして行う POI のポーズをし、ディベートで POI をするウォームアップをすることができました。



POI の練習

### 実践（1）の様子

実践（1）では、積極的に POI を活用して相手のスピーチの内容を確認したり、相手の主張に対する自分たちの意見を説明したりすることで、議論を深めようとする姿勢が見られました。また、相手のスピーチをよく聞き、即座に考えて反論する瞬発力を発揮することができました。



スピーチの様子



エアー握手



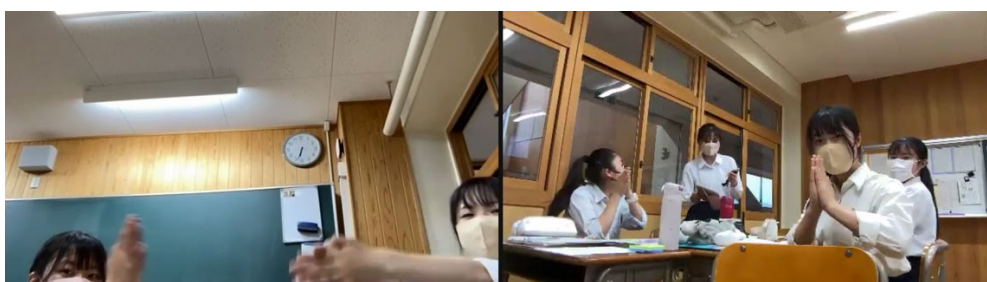
## 実践（２）の様子

肯定チームと否定チームを入れ替えて実践（２）のスタートです。論題に関して様々な観点から理由や具体例を提示して、説得的なスピーチを披露しました。

ディベート後のフィードバックも真剣にメモをとりながら聞き、ときには質問し、今回の実践を次に繋げようとする姿勢が見られました。



堂々とスピーチをする様子



ディベート後のエアー握手

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分には何が足りないか、どう返すかを学べてよかったです。
- ・フィードバックを詳しく言ってもらえたので思いつかなかった考えを知ることができた。
- ・2回ディベートをしてとても疲れましたが、自分の糧としてこれから頑張りたいと思いました。
- ・もっと練習を重ねて上達したいです。

### ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■ さん（2回）  
■■■ さん  
■■■ さん

### ベスト POI に選ばれた皆さん

■■■ さん  
■■■ さん

## PDA 東海公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2023

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



開催日時：2023年6月10日（土）13:00-17:00

会場：オンライン（Zoom）

参加校：7校、12チーム（愛知県立岡崎高校、岐阜県立岐阜高校、静岡県立静岡高校、  
静岡県立浜松北高校、静岡県立清水東高校、三重県立四日市高等学校、  
神奈川県立相模原高校(Swing)）

参加者：生徒45名、教員9名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、東京大学、広島大学、同志社大学、  
東京外国語大学、大阪大学、横浜国立大学

開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事中川智皓より激励のメッセージが送られました。「海外に住みたい人はいますか？」とたずねると手をあげる生徒が見受けられ、「知見を広げる機会が必要。生きていく上で使える英語を身につけることが重要。今日はなるべくたくさん伝えるということにチャレンジしてください。」とエールが送られました。次に、岐阜県立岐阜高校の石田校長先生より、「恥ずかしがらずに積極的に頑張ってください。緊張するのはここまでにして、楽しんでこの交流大会にチャレンジしましょう！」とご挨拶いただきました。次に、静岡県立静岡高校の織田校長先生より、「緊張しているかもしれないが、今ここにいる時点で、好奇心や勇気を持ち合わせている。間違ふことを楽しむ気持ちで頑張ってください！」と英語でご挨拶いただきました。



岐阜高校 石田達也



静岡高織田

岐阜高校 石田校長先生よりご挨拶

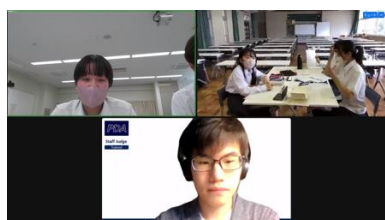
静岡高校 織田校長先生よりご挨拶

そして、PDA スタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。



みんなでPOIのポーズ！

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は “*Students should be prohibited from using ChatGPT.*” (生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。) でした。ChatGPT (チャットジーピーティー) とは、Open AI 社が開発した、人工知能 (AI) を使ったチャットサービスで、人間の質問に対して、まるで人間のように自然に、そしてクオリティの高い回答をします。この最新のテクノロジーについて、どのように活用していくべきなのかという点について、身近な具体例などを交えて説明しました。自力で考える機会が失われてしまうことの問題と、うまく活用することの重要性が争点となり、ときには POI で質疑応答をしながら議論を深めました。ディベートが終わるとエアー握手を交わし、ジャッジからフィードバックを受けました。



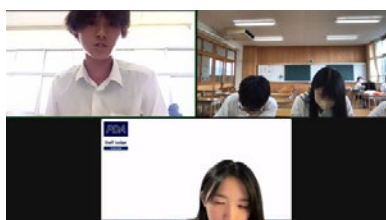
四日市 A VS 静岡 A



POI! 岐阜 B VS 清水東 A



岡崎 A VS 静岡 B



浜松北 A VS 清水東 B



相模原 VS 岡崎 B



POI! 岐阜 A VS 浜松北 B



ディベート後のエアー握手 (岐阜高校 B VS 清水東高校 A)



現地の様子 (浜松北高校)



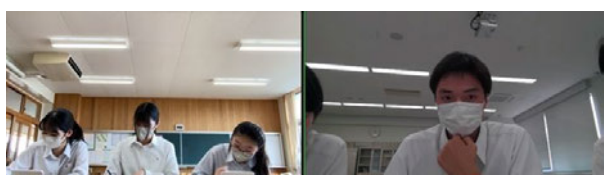
続く第2ラウンドのお題は、“*Japan should increase defense spending.*”（日本は防衛費を増額すべきである。）でした。そもそも日本が置かれている状況とはどのようなものか、防衛費を増やす必要性がどれほどあるのかについて議論しつつ、予算の使い方として他に優先すべきことがないかなどについても議論しました。ディベートが終わり、ジャッジのコメントを待つあいだ、相手チームとポイントの確認をしあったり、お互いの学校生活や部活動について楽しく交流しました。その後、ジャッジから勝敗の発表と個人フィードバックが行われ、生徒一人一人によかった点と改善点が述べられました。



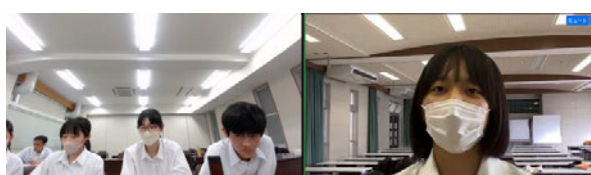
静岡 B VS 浜松北 B



POI ! 清水東 B VS 岡崎 B



清水東 A VS 四日市



岐阜 B VS 静岡 A

そして、エキシビジョンディベートでディベートを行う、ジャッジが高く評価した代表生徒 6 名が発表されました。名前が呼ばれると拍手が起こり、論題発表に備えました。

エキシビジョンディベートの準備時間、「笹川平和財団スカラシップ説明会」が行われました。常務理事の茶野様にご登壇いただき、笹川平和財団について、そして奨学金についてご説明いただきました。海外での生活や留学に興味のある生徒が多く、真剣に説明を聞く様子が見られました。



笹川平和財団スカラシップ説明会

そしていよいよエキシビジョンディベートのスタートです。論題は、“*Japanese students should go to university abroad.*”（大学は海外に進学すべきだ。）でした。なるべく早く知見を広げるために海外に行った方がいいと主張する肯定側に対し、オンラインで海外に関する知見を得たり、社会人になってから海外に行ったりなど代替案があることを主張した上で、コストなど懸念点をあげました。アイコンタクトしながら堂々とスピーチし、スピーチ内容だけでなく表現面でも説得力を強める工夫が見られました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、僅差で **Opposition**（否定側）の勝利となりました。



エキシビジョンディベートの様子



エキシビジョンディベート後のエアー握手

閉会式では、エキシビジョンディベーター賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。

表彰式が終わると、2度ベストディベーターに選ばれた生徒が「他校の生徒と交流できて楽しかった。クリティカルシンキングなどをさらに磨いてまた頑張りたいと思う。」と、本日の感想を述べました。



ベストディベーターに選ばれた生徒による感想



## 〈現地の様子〉

◎静岡県立浜松北高校



◎静岡県立静岡高校



## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

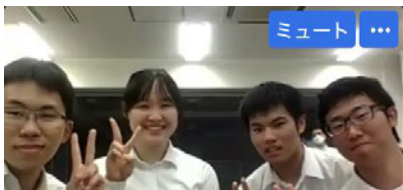
PM	相模原高校	_____	さん
LO	浜松北高校	_____	さん
MG	静岡高校	_____	さん
MO	岐阜高校	_____	さん
LOR	四日市高校	_____	さん
PMR	岡崎高校	_____	さん



エキシビジョンディベータ賞

### 〈チーム賞〉

- 1位 岐阜高校 Aチーム
- 2位 静岡高校 Aチーム
- 3位 岡崎高校 Aチーム
- 4位 浜松北高校 Aチーム
- 5位 静岡高校 Bチーム



1位 岐阜高校 Aチーム



2位 静岡高校 Aチーム



3位 岡崎高校 Aチーム



4位 浜松北高校 Aチーム



5位 静岡高校 Bチーム

〈ベストディベーター賞〉 ★は2回選ばれた生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん (岐阜 A) ★2回
- ・ \_\_\_\_\_さん (静岡 B) ★2回
- ・ \_\_\_\_\_さん (相模原) ★2回
- ・ \_\_\_\_\_さん (岐阜 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (岡崎 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (岡崎 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (四日市)
- ・ \_\_\_\_\_さん (浜松北 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (静岡 A)



ベストディベーター賞

〈POI賞〉 ★は2回選ばれた生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん (岡崎 B) ★2回
- ・ \_\_\_\_\_さん (岐阜 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (岐阜 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (岐阜 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (岡崎 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (四日市)
- ・ \_\_\_\_\_さん (静岡 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (相模原)
- ・ \_\_\_\_\_さん (相模原)



ベスト POI 賞

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他の学校の方がスラスラ意見を言っていて、感銘を受けました。（清水東高校）
- ・ディベートの大会に出たのが初めてで、まだ英語でディベートをするということをあまりやったことがなくて不安が大きかったのですが良い経験になったなと思いました。ありがとうございました。（清水東高校）
- ・初めて大会に参加し、しっかり聞いたディベートがレベルが高すぎて驚きました。先輩方のディベートを参考に、目標にしていきたいと思います。（清水東高校）
- ・他校と試合することが殆どないので刺激的だった。（浜松北高校）
- ・みんなで意見を出し合っって議論を作るのが楽しかった。去年よりももっと議論が楽しいと思えたしPOIも初めてできて嬉しかった。（岐阜高校）
- ・まず、みんなで考えいかに勝とうとするかを頭を捻って考えるのが面白かった。（四日市高校）
- ・いろんな人の意見が聞けた。うまくいえなくても、一生懸命に考えられた。（岡崎高校）
- ・その場で相手の意見を聞いてそれに合わせた意見を考えるときに新鮮な意見をたくさんきけて、英語も使えて楽しかったです。（岡崎高校）
- ・他の高校にも本当にすごい人たちがいることが知れて、その人たちと関わったのがとても良かったです。自分はまだまだだと思ったし、これからもっと頑張ろうと思いました。みんなの、論理的に考え、話す力、英語力、ジャッジや相手に語りかける力、本当にすごかったです。とても良い影響を受けることができたと思います。（静岡高校）
- ・私はPOIは出来ませんでした、POIをして答えている人達のやりとりを聞いていて、なぜか対戦者同士なのに心が繋がっているように感じてとてもいきいきとしているように見えました。主張を重ねていただけだと思っていたディベート大会のイメージが私の中で覆されたからです。大きな発見でした。（静岡高校）
- ・去年と今年を比較して、自分自身の成長を感じられたので嬉しいです。（岐阜高校）
- ・普段、関わることのない人だったり、深く考えることのない問題について深く考えたり、自分の意見とは違う立場で意見を固めるのが難しくてやりがいがあった。（四日市高校）
- ・英語でのディベートの経験はそんなにたくさんはありませんが、多くの人と関わる中でたくさん学びがありました。積極的に参加してよかったです。（浜松北高校）
- ・普段他の高校の方とディベートをする機会が少ないので、レベルの高みなさんとディベートが出来たことがすごく刺激になりましたし、結果が出るまでの交流時間に論題の話し合いや互いの学校について話せてとても楽しかったです。（岡崎高校）
- ・他校と交流することでこういう広げ方をするんだ、こういう風に順序だてて立論するんだという学びがとても多く、これからの自分の技術の向上に繋がると思います。また実際に自分がスピーチすることで、改善点や続けていきたい点を多く見つけることが出来てとても良い経験となりました。楽しすぎました！（岡崎高校）
- ・普段お会いしない方とディベートをすることができて楽しかった。（相模原高校）
- ・オンラインで半日でできるので、手軽で良かった。生徒にとっていい刺激となった。（教員）
- ・本校生徒にかけがえのない経験と自信を与えていただき、PDAスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。（教員）





## 2023 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023 年 6 月 23 日 (金) 14:00-17:00

会場：オンライン開催(Zoom)

参加者：教員 24 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

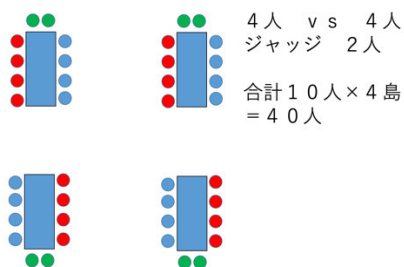
ジャッジ：PDA スタッフ、神奈川教員 (PDA 認定教育ジャッジ)、東京大学

はじめに、師岡校長先生より、「グローバル人材の育成と英語 4 技能の指導力向上が目的です。お互いに刺激を与え合い、よりよい情報共有の機会にしてください。また、この研修で学んだことは他の英語科の先生にもぜひ共有してください。」とご挨拶いただきました。そして、横浜平沼高校の小島校長先生、横浜国際高校の小河校長先生、横須賀高校の鑪校長先生、柏陽高校の野沢校長先生にご挨拶いただきました。

次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) ディベート推進委員長の賀賀より、アメリカにおける入試制度の変化を紹介しつつ、研修の意義について説明と挨拶が行われました。

次に PDA スタッフより、「即興型英語ディベートの授業導入に向けて」と題し、即興型英語ディベートのルールや授業での導入方法などについて説明が行われました。

### 授業での導入



オリエンテーションの様子



POI (ディベート中の質疑応答) の練習

質疑応答では、定義の設定の仕方についてや POI の詳細について質問の手が上がり、実際に授業に即興型英語ディベートを導入した際に想定される課題について質問する場面もありました。



休憩をはさみ、ディベート実践が行われました。1 度目の実践の論題は、“Homework should be abolished.”（宿題を廃止すべきである。）でした。2 度目の実践の論題は、“Convenience stores should be closed late at night.”（コンビニは深夜営業をやめるべきである。）でした。3 テーブルに分かれてディベートを実施しました。中には昨年も本研修に参加した教員が積極的にチームをリードし、スピーチ方法についてアドバイスをしたり、反論方法を教えたりする場面もありました。

POI を通して質疑応答にチャレンジする場面もあり、生徒が POI をする緊張感を教員自ら実感する機会となりました。ディベートが終わると対戦チームと握手を交わし、ジャッジより勝敗とその理由、個人コメントを受けました。

(ディベート実践①)



ディベート実践の様子



エアー握手の様子

(ディベート実践②)



POI(質疑応答)の様子

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・昨年度から授業にてディベートを生徒にやらせてはいたが、自分ではしたことがなかったので経験できたいい機会になりました。実際に生徒側の気持ちを体験できたので良い学びになりました。これをもとに生徒への指導の仕方、声掛け等に活かしたいと思います。
- ・生徒への指導を意識した助言をいただくことができました。情報共有をすることもできました。
- ・自分で取り組むことで実際のディベートのイメージが掴めたので良かったです。
- ・初回からディベートができてよかった。これからたくさんの経験を通して自分のスキルアップ及び自校の英語科に持ち帰っていかしていきたい。
- ・全く初めてのディベートで緊張しましたが、グループの先生方と力を合わせて挑戦できて、楽しくできました。フィードバックももらえて良かったです。
- ・夏休み明けから導入予定のディベートの実践ができて達成感があった。
- ・自分の自己研鑽としても、生徒への授業アイデアとしても、ディベートという手法が大変有意義と感じた。次回も大変楽しみにしています。
- ・初回からハードな内容でしたが、後期から自校の授業でディベートを行う予定なので、指導する立場として積極的に研修に今後も参加したいと思います。
- ・即興ディベートの方法や授業で行う際のやり方などを具体的に学ぶことができた。また実践することによって流れをつかむことができた。即興ディベートは初めてだったので最初はとても不安だったが、実際にやってみるにより、難しかったがやり方を知ることができ、とてもためになった。また最後に講評をいただき、改善点やより強い主張になるようなアドバイスをいただきとても参考になった。ありがとうございました。
- ・初めて英語でディベートをしましたが、同じチームのメンバーと話し合っって考えを構築したり相手の考えに反論するのが面白かったです。英語の授業にも応用できる部分があると思いました。自分自身が生徒の良い手本になれるように、またより良く生徒のジャッジできるようにディベート力を身につけたいと思います。



PDA 大阪府立北野高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年7月11日(火) 15:30~17:30

場所：オンライン (Zoom)

参加者：高校1・2年生19名、教員3名(古平先生、國里先生、他)

スタッフ：PDA認定教育ジャッジ、九州大学、広島大学

即興型英語ディベート経験者も多いものの、初めて挑戦する参加者もいたため、まず最初に、PDAルールの確認を簡単に行い、即興型英語ディベート特有の大事なルール、POI (Point of Information) の練習も参加者全員で行いました。



全員で元気よく POI 練習！

### 実践①の様子

論題を肯定/否定する理由や具体例を、分かりやすくスピーチする生徒が多く見られました。北野高校の皆さんの描写力の高さ、発信力の高さが目立つ実践となりました。また、早速 POI も飛び交い、議論が深まりました。

ラウンド後は、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1人1人への個人コメント(良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点など)が述べられました。

### 実践②の様子

短い休憩の後、先ほど PDA ジャッジから受けたアドバイスを早速いかして、実践②に取り組めます。論題に関わる様々な関係者(stakeholders)について、それぞれの固有性を分析をスピーチに含め、相手のポイントと自分たちのポイントを比較したうえで、自分たちの優位性を説明しようとする姿勢が目立ちました。また、実践②でも POI が飛び交い、活発なやり取りが各テーブルで見られました。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて対戦相手と握手

### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

- 初めてディベートを行い、ディベートの難しさと共に意見をぶつけ合うおもしろさを感じました。
- 初めての試みだったが、とても有意義な時間で英語を使う力を深められた。
- 今日のディベートはどちらのラウンドも上手く噛み合った面白いディベートになった。特に第2ラウンドのモーションは難しかった分、興味深いものになった。本当に楽しかった！
- どうすれば論理的に話せたり、相手を納得させるかをチームで考えるのが楽しかった。
- ディベートは見たことはあったが、したことはなかったので、とても良い経験になった。実践的に英語を使うことで、自分の英語力に何が足りていないのか把握することができた。
- 自分が必死で話していた時には気づかない細かいアドバイスに、はっとしました。論の展開、構成など学ぶことが多かった。
- 的確なアドバイスがとても刺さりました。uniquenessの大切さを実感することができました。
- 良かった点と改善点をわかりやすく示してくださったので次回に向けて練習すべきポイントがよくわかりました！
- 全然喋れず悔しかったが、様々な英語の表現をまなべた。
- ディベートは初めてで、思っていた以上に難しくて上手くできなかつたけれど、英語ディベートがどんなものか知ることができた。良いアドバイスをたくさん聞けて良かったです。



## PDA 福山暁の星女子中学・高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年6月12日(水) 14:20-15:10

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒21名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学、京都大学

はじめに、ジャッジの紹介とルールの復習を行いました。ルールの復習では、ディベート中の質疑応答・POI (Point of Information) の練習を行いました。POIは片手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばしたポーズで行います。「せーの！」の合図で、元気よくPOIのポーズができました。



POIの練習

### 実践の様子

各グループで肯定チームと否定チームに分かれて“**Homework should be abolished.**” (宿題を廃止すべきである。) という論題についてディベートを行いました。論題発表後、15分間の準備時間があり、そのあとすぐディベートが開始しました。時間いっぱいスピーチしたり、ときにはPOIで質問したり、宿題の必要性や、自由時間の重要性について議論しました。ディベート後は相手チームと握手を交わし、ジャッジからフィードバックを受けました。



ジャッジとアイコンタクト



元気よくPOI!



ディベート後の握手





## PDA 奈良県立奈良高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年6月13日（木）13:00-15:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒21名、教員1名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学、東京外国語大学

はじめに、ルールの確認と POI（Point of Information）の練習を行いました。「即興型英語ディベートをするのは今日が初めてだ」というメンバーも元気よく POI のポーズをして緊張をほぐすことができました。



POI の練習

### 実践（1）の様子

実践（1）では、具体例を効果的に用いた説得的なスピーチがみられました。また、即興型英語ディベート経験のある生徒が初挑戦の生徒をサポートする場面もあり、チームで協力しながら反論を考えたり、アイデアを出し合ったりしました。ディベートが終わると握手を交わし、お互いを労いました。



スピーチの様子



ディベート後の握手



勢いよく POI !



ディベート後の握手

### 実践（２）の様子

休憩をはさみ、実践（２）のスタートです。実践（１）でジャッジから受けたフィードバックを活かして、POIを受けて返答にチャレンジする様子も見られました。また、ジャッジに「英語が話せるようになるには？」「比較を効果的に行うには？」など積極的に質問し、意欲的に学習することができました。



すかさず POI !



ディベート後の握手



連続で POI !



ディベート後の握手

ディベートを終えると、代表生徒が「たったの２時間ではあったが、学びが多かった。」と感想を述べました。

感想を述べる様子



奈良高校2

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・英語のことを知れて楽しかった。
- ・拙い英語でもコミュニケーションを取れた実感があった。講評が丁寧でとてもわかりやすかった。
- ・初めてディベートを体験できて、とても楽しかったです。
- ・知らない人と仲良くなれた。新しい挑戦で楽しかった。思ってたより楽しかったです！ 2回目は1回目よりも上手くできた感じがあって嬉しかったです。
- ・楽しかったです。同じメンバーの人とも仲良く議論できました。日常で英語で話すことはほとんど無いので貴重な体験となりました。ありがとうございました！
- ・日本語で組み立てた論理を自分の知っている英語に直すことは難しかったです、1回目より2回目の方が話せて達成感があった。
- ・本当に楽しかったです。普段、日本語でも討論とかしないのにできるかなって不安だったんですけど、アドバイスを頂けてそれを2回目で少し使えてちょっと成長できた気がしました。ぜひまた参加したいです！



## PDA 滋賀県立膳所高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年7月20日（木）13:00-15:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒16名、教員1名

ジャッジ：PDAスタッフ、東京外国語大学

開会式前に POI（Point of Information）のルールを確認したり、ポーズの確認をしたりする様子が見られました。



開始前の POI 練習の様子

はじめに、ルールの確認と POI の練習を行いました。スタッフの「せーの！」の声に合わせて元気よく POI のポーズをすることができました。



POI の練習

### 実践（1）の様子

実践（1）では、相手のスピーチを聞いて即座にエッジのきいた切り返しをする反論を説明する場面が見られました。ディベートの流れについて不安のあった生徒もいざディベートが始まると時間いっぱい堂々とスピーチすることができました。ディベート後は相手チームとエアー握手を交わし、ジャッジからフィードバックを受けました。





スピーチの様子



ディベート後の握手



ジャッジによるフィードバックの様子

## 実践（２）の様子

休憩をはさみ、肯定と否定を入れ替えて実践（２）のスタートです。立論や反論のコツ、説明の仕方のコツなどをジャッジから学び、次の実践に活かします。POIも飛び交い、確認の質問だけでなく、内容に切り込んだ質問をする様子も見られました。また、相手の出している論点と自分たちの出している論点を比較して、自分たちの論点の方が重要である理由をわかりやすく示す工夫も見られ、実践（１）よりもさらに深い議論となりました。



時間いっぱいスピーチ



ディベート後の握手

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・とても楽しかったです！ありがとうございます！
- ・ルール説明もわかりやすく、実際にディベートをするのは難しかったけど楽しかったです。
- ・普段の授業でディベートをする機会がなく、経験ができたことと、自分のディベートへのフィードバックをもらえたことがよかった。
- ・もっと語彙力を上げないと感じた一方、みんなの新しい一面を見れたと感じました。
- ・楽しかったです!!もっと単語を知ってまともな会話ができるようになれるよう励んでいきたいです。
- ・色々なことを考えなくてはいけなくて、難しかった。
- ・自身のスピーチを高めるために必要なことを学べて良い機会になりました。
- ・ディベートを初めて本格的にすることが出来てめっちゃいい経験になりました。いざ前に出てみると全然話せなかったり、具体的な話があまり出来なかったりしたので、今後意識してみようと思えました。
- ・素早く意見や反論を考えて英語にするのが難しかった。



## PDA 岩手県立花巻北高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年7月21日（金）16:20-18:20

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒11名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学

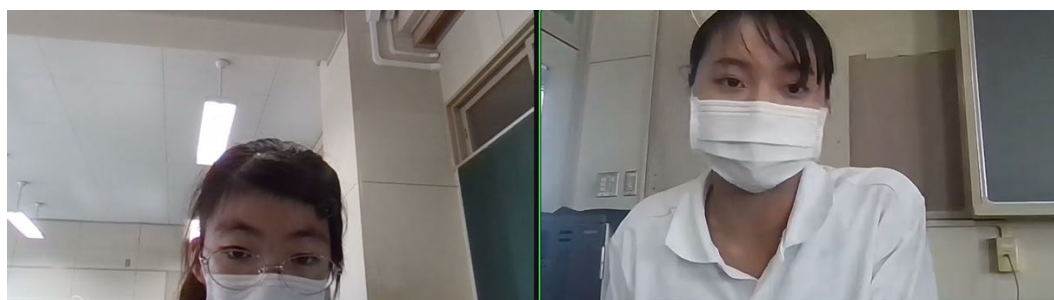
はじめにルールの確認と POI（Point of Information）の練習を行いました。ディベートのルールに関する動画を事前に視聴してきた生徒たちは、「POIのポーズ、知っていますか？」というスタッフの声かけに対し、即座に POI のポーズを披露することができました。



POI の練習

### 実践（1）の様子

実践（1）の論題は、“**We should abolish homework**”（宿題を廃止すべきである。）でした。肯定側は「将来、自分の責任で仕事に取り組む必要があることを想定し、今のうちから自分で考えてマネジメントするスキルを磨くべき」と主張し、対する否定側は「何よりも学力が重要であり、宿題は勉強習慣をつける上で非常に重要」と主張しました。中には「勉強習慣がある生徒」と「ない生徒」に場合分けして説明する説得的なスピーチを披露する場面も見られました。



アイコンタクトをしてスピーチしている様子

## 実践（２）の様子

休憩をはさみ、肯定と否定を入れ替えて実践（２）のスタートです。論題は、  
“Convenience stores should be closed late at night”（コンビニは深夜営業をやめるべき  
きである。）でした。実践（１）でディベートの流れ・型を理解し、実践（２）ではより  
スムーズにディベートを実践することができました。ディベートの内容に関しても、実践  
（１）でジャッジから、「具体例を説明してみよう」「自身のエピソードも重要な例の一  
つ」「反論でも理由づけを意識しよう」「相手のスピーチを聞いてわからないことがあつた  
ら POI で質問してみよう」などのアドバイスを受け、それらを活かそうとする様子が見ら  
れました。



時間いっぱいスピーチ



ディベート後の握手の様子



POI にもチャレンジ！！



## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・良かった点もあったが、改善点もいくつか見られた。自分の直すべき点を見つけられたので、それをこれからのディベートでいかしていきたい。
- ・今日の活動を通して、テーマからどのようなことが想像出来るか考えることや、具体的な特徴を述べて、そこからどのような問題点が出てくるのか考えることが大切だとわかった。これからのディベートも今日学んだことを活かして取り組んでいきたいと思った。
- ・最初は緊張していたけど、ディベートをしているうちに緊張がとけて楽しみながら取り組めた。
- ・最初は不安でしたが、だんだん慣れてきてコツが分かってきたので、良い機会になったと思います。
- ・ディベートをまだあまりやったことがなかったので、わからないことが多くあり、難しかったけれど、たくさんのアドバイスを頂けたのでこれからもっと勉強して、スムーズに発言できるようになりたいと思いました。

### ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■■ ■■■■さん

■■■■ ■■■■さん

■■■■ ■■■■さん

■■■■ ■■■■さん

■■■■ ■■■■さん（2回）

### ベスト POI に選ばれた皆さん

■■■■ ■■■■さん

## PDA 青森県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2023

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023年7月22日(土) 12:00-16:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：4校、8チーム (青森県立青森高校、青森明の星高校、八戸聖ウルスラ学院高校、  
青森県立青森南高校)

参加者：生徒24名、教員9名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ・青森高校、PDA認定教育ジャッジ・三沢商業高校、三本木高校、野辺地高校

開会式では、青森県教育研究会外国語部会長・青森南高等学校長の久保田千夏先生より、「志を同じくする仲間とディベートを通じた交流を楽しんでください。」とご挨拶いただきました。

次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事の中川智皓より、挨拶とパークーでのディベートの経験をもとに、スピーチシートの重要性についてメッセージが送られました。

その後、PDAスタッフより、参加校の紹介、ルールの復習、評価基準の説明などが行われました。ルールの復習では、相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができるPOI (Point of Information) について練習を行いました。スタッフの「せーの！」の合図に合わせて、ディベート本番のようにミュートを解除し、「POI！」と言いながら、片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズをすることができました。



代表理事中川先生によるご挨拶



全員で「POI！！」

POIの練習が終わると、早速第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は「**Students should be prohibited from using ChatGPT.** (生徒のChatGPTの利用を禁止すべきである。)」でした。準備時間が終わると、ジャッジを務める青森県内の高校の教員の進行のもと、ディベートが始まりました。

肯定側は、生徒がどんな方法で ChatGPT を使用する可能性が高いのかを分析しながら、思考力が低下してしまうという問題についてや ChatGPT の信頼性の欠如について、否定側は、むしろ思考の幅が広がるようになることや有効な使い方について説明しました。ディベート中、音声トラブルが生じたテーブルもありましたが、その障害を乗り越え、的確な反論をしている様子も見られました。

ディベートが終わると、画面越しにエアー握手を交わし、お互いのスピーチについてや英語のスピーキングについて話すなど交流を深めました。



明の星 B VS 青森 A



青森 B VS 八戸聖ウルスラ学院 A



明の星 A VS 青森南 A

ディベートが終わると、ジャッジから、勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベーター、POI の発表などフィードバックが行われました。

特に個人コメントでは、一人一人に良かった点と改善点が提示され、生徒は次のディベートに活かそうとメモをとる様子が見られました。



ジャッジによるコメントの様子

続く第 2 ラウンドのお題は、「**Japan should increase defense spending.** (日本は防衛費を増額すべきである。)」でした。日本において自衛の強化と他の社会保障等のどちらに限られた予算を費やすべきであるかという点や増額することによって本当に安全になるのかという点について議論しました。第 1 ラウンドよりは身近には感じにくい社会問題でしたが、POI を通した質疑応答が活発に行われ、相手チームの主張の根拠や具体的事例についてたずねる様子も見られました。





P01の様子



八戸聖ウルスラ学院 B VS 明の星 A



青森南 A VS 明の星 B



八戸聖ウルスラ学院 A VS 青森 A



チームワークを発揮する様子



ジャッジに訴えかけるスピーチの様子



そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**Japanese students should go to university abroad.** (大学は海外に進学すべきだ。)」でした。両チームとも、海外の大学、日本の大学それぞれでしか得ることのできないスキルや学びについてや進学の際の障壁について深く分析し、堂々としたスピーチを披露しました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、投票数に差はなく、甲乙つけ難い結果となりました。



エキシビジョンディベートの様子

エキシビジョンディベートの準備時間には、青森高校出身で東京外国語大学に所属する小松佳祐さんより、全国大会に出た経験から感じたことや、即興型英語ディベートを通して得たものについてメッセージが送られました。

最後にエキシビジョンディベーターが本日の感想を述べ、交流大会が終了しました。



小松さんによるメッセージ

## 【表彰】

### 〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM 明の星高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ LO 青森南高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ MG 八戸聖ウルスラ学院高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ MO 青森高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ LOR 明の星高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ PMR 青森高校 \_\_\_\_\_さん

### 〈チーム賞〉

- 1位 青森高校 A
- 2位 八戸聖ウルスラ学院高校 B
- 3位 明の星高校 A
- 4位 八戸聖ウルスラ学院高校 A
- 5位 青森南高校 B

### 〈ベストディベータ賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん(青森高校 A)★
- ・ \_\_\_\_\_さん(明の星 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん(青森南 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん(八戸聖ウルスラ学院 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん(八戸聖ウルスラ学院 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん(八戸聖ウルスラ学院 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん(青森高校 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん(明の星 B)



ベストディベータに選ばれた皆さん

### 〈POI賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん(八戸聖ウルスラ学院 B)★
- ・ \_\_\_\_\_さん(明の星 B)★
- ・ \_\_\_\_\_さん(青森高校 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん(青森高校 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん(明の星 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん(八戸聖ウルスラ学院 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん(明の星 A)



POI賞に選ばれた皆さん



集合写真

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・他校の主張の強さに驚き、学習意欲向上につながった
- ・他の高校の方たちとディベート出来たことで学ぶことが沢山ありました勉強になりました面白かったです
- ・初の参加で不安なことがたくさんあったけど楽しくできてよかったです。機会があればまた参加してみたいです。
- ・仲間と協力をして話し合うことができたのがよかったです。
- ・初めてのディベート大会で、どうなるんだろうと思っていましたが、自分の意見をしっかりと主張しながら、審査の人に伝わるようにしっかり英語で伝えることができたのでよかったです！来年も参加したいです！！
- ・難しくて勝てなかったけれどチームの人と協力して全力で楽しめたので良かったです。次はもっと上達した状態でやりたいです。
- ・エキシビジョンマッチでは緊張のため上手く話せなかったことが悔しいです。
- ・悔しいことが多かったからもっと英語の勉強を頑張りたいです！
- ・今までの英語力で自分はどのくらいまでいけるのかを実感することができました。1年かけて文法や単語を復習したり新しく覚えたりしてまたディベートに参加していきたいです。
- ・すごく不安だったけど他校のディベートを聞いてとても参考になり自分の英語力の向上に繋がったと思います。
- ・ベストチーム賞で1位いただくことができ、大変光栄でした。また、POI賞やエキシビジョンディベートへの参加もとても嬉しかったです！・他の高校との試合は頻繁にあるものではなく、大好きなディベートを通して交流できたり、チームでの仲をより一層強いものにできたりと、参加して良かったとたくさんの場面で感じられました。また次回ぜひ参加したいです。ありがとうございました！
- ・もっと英語を話せるようになりたいと思いました。最高のメンバーで優勝できて嬉しかったです！
- ・楽しかったけど、自分の論が甘かったなと感じた。これからも強い先輩たちと練習して深いディベートをできるようになりたいと思った。

- ・自分は他校の生徒と英語で会話する機会が少ないので、ディベートをとうしてこのような機会がえられてとてもよかったです。全国大会にも挑戦してみたいです。

(教員の声)

- ・やはり、力の差を感じました。ディベートに詳しく、練習できる教員がいないので、やりたい生徒がいながらも、申し訳なく思います。
- ・たくさんの生徒の英語を話しているのを見ることが出来た。勉強になった。
- ・毎回大変勉強させていただいております。ありがとうございます。ジャッジとして今回ご協力できなく大変申し訳なく思っておりますが、他校のチャーチの皆様のおかげで、充実した時間が過ごせました。ありがとうございます。
- ・生徒が一生懸命英語を話している姿を見ることができた。